

PRICE CHECK

今月のプライスチェック

■PDF制作サービス

チェック込みの 変換処理がページ 1000円から

- PDFは異なる種類のパソコンでも文書の体裁を保ったまま閲覧・印刷できるファイルの形式。既存文書からの変換サービスの料金は、変換後の確認や調整などの処理を含めて1ページ1000円ぐらいからである。
- 紙に印刷してある文書をスキャン入力してPDFに変換することもできる。こちらは1ページ2000円ぐらいから。この場合はページ全体を画像として扱う。
- WWWへのファイル掲載やCD-ROM化などのサービスと絡めた事業展開を図っている会社が多く、PDF制作だけを請け負うところはあまり多くない。

通常、デジタル文書はそれを作成したワープロなどがなければ元々の体裁を生かしたまま閲覧することは難しい。テキスト(文字)だけのファイルとして作成すれば文字の互換性は保てるが、フォントの種類などを引き継ぐことはできない。画像データなどを文書に挿入することもできない。

しかし文書を作成したソフトがなくても、文書の体裁や画像、フォントを含むテキストのデータを保持したまま、WindowsでもMacintoshでも同じように閲覧できる文書ファイルの形式がある。それが米アドビシステムズが開発した「PDF」(Portable Document Format)である。

PDFを閲覧するための「Acrobat Reader」はアドビシステムズのWWWサイト(<http://www.adobe.co.jp/>)などから無料でダウンロードできる。PDFのファイルは、印刷物に近い高品位な

文書でありながらファイルを圧縮できるため、容量は比較的小さい。受け渡しが容易でインターネットなどで配布する文書の形式として注目されている。

ワープロやDTPで作成した文書をPDFに変換すること自体は難しくはない。PDF変換ソフト「Acrobat3.0J」(3万9800円)が市販されており、主要なワープロやDTPの文書から容易に変換できる。そのためPDF制作サービスの料金は変換以降のチェックや編集の作業によって決まる。

PDFへの変換自体は容易だが、現在のところ変換前の文書のフォントによっては、うまく処理できないケースもある。例えば、Windows95の標準フォントの「MS P明朝」の文書をPDFに変換すると、一部字間が詰まり過ぎてしまう。この場合、変換後のファイルを確認し、不備があれば編集したり、元の文書のフォントを変更して再変換し

たりするといった作業が必要になる。

WWW掲載を前提にPDFにするときの圧縮率の調整も難しい。圧縮率を低くして解像度を上げれば、閲覧したときの見やすさは増すが、ファイルの容量は大きくなる。容量が大きくなると、ダウンロードに時間がかかる。逆に圧縮率を上げ過ぎれば、画像などが見づらくなる。「適度な見やすさを保ちつつ、ダウンロードが容易な解像度に調整するのは難しい」(ネクシスコミュニケーションズの平尾博プロデューサ)。

今回取材したサービス提供者のうち、「エス・プリ」のPDFへの変換料金は1ページ1000円ぐらいから。ミュキ印刷の「MIM JAPAN」は変換だけならページ150円からだが、チェックと編集の作業は別料金になり、それらを含めるとやはりページ当たり1000円ぐらいだ。「ネクシスコミュニケーションズ」は、1ページ3000円。

各社の料金に開きがあるが「大量の変換の場合、このままで算出するわけではない」(平尾氏)。あくまで目安だという。3社とも、目次を付けたり、ページ内にリンクを張るなどの機能を持たせれば、別途料金がかかる。

印刷物などの紙媒体からPDFを制作することもできる。その場合印刷物を一度スキャン入力して、画像に変換し、それをさらにPDFに変換する。画像ファイルからPDFへの変換は前述の変換サービス料金に準じる形だ。エス・プリがページ2000円から、ネクシス

コミュニケーションズは1時間5000円の実作業時間で料金を見積もる。

しかし画像データとして取り込んだ場合、「体裁は保てるがテキストやフォントの情報は取り込めないで、検索可能な文書を生成できない。PDFにする意味は薄れてしまう」(エス・プリの野田幸嗣代表取締役)。文字と画像を分けてスキャン入力し、PDFを生成することは可能だが、こうなると「DTP作業と同じ」(ネクシスの平尾氏)。「入稿の形を確認して依頼側の要望を聞いてからでないと、正確な見積もりは

できない」(ミユキ印刷営業企画部 MIM JAPANの井上務リーダー)。

3社ともPDF制作サービスだけでも請け負うが、エス・プリとネクシスはホームページへの掲載サービスの中で、MIM JAPANはCD-ROMコンテンツのひとつといった位置付けでPDF制作サービスを展開している。現在のところ「PDF制作だけを切り出しても、なかなかビジネスとしては成り立たない」(エス・プリの野田氏)という。■

(橋本雄一=フリーライター、

CYU00617@niftyserve.or.jp)

Price Lists

●98年6月現在のPDF制作サービス料金を聞き取り調査した。
●実際の料金は条件などによって変動がある。

表1 「ネクシスコミュニケーションズ」*1のPDF制作料金

サービス	料金	
初期費用	10万円/ファイル	
PDF制作	印刷物のデータ化*2	5000円/時間
	ファイル変換*3	3000円/ページ
	リンク設定*4	2000円/5カ所
	アーティクル設定*5	4000円/2ページ
	目次作成	1000円/4ページ
WWW掲載*6	30万円/3カ月	

*1 中心業務はホームページの制作。原則的にはWWWへPDFを掲載するサービスを前提にPDF制作のサービスを提供しているが、既存文書のPDF変換だけでも請け負ってくれる。変換する文書の内容や量にもよるが、通常約1週間で納品。
*2 印刷物や紙下をスキャンし、TIFF形式などの画像データに変換。ロゴのトレース、レイアウト編集などの作業も含まれる。料金は実作業時間で見積もる。画像からPDFへの変換はファイル変換以降の料金に準じる。
*3 Microsoft Word、PowerPoint、Illustrator、PageMaker、QuarkXPressなどで作成した文書をPDFに変換する。変換後のチェック、解像度調整などの作業も含まれる。
*4 PDF内のある箇所からページをめくることなく、関連する別の箇所の情報を表示できる機能。1ファイル内で10カ所までは無料、それ以上になると表の料金がかかる。
*5 ある文章を読み込んだ後、挿入してある写真を見せるといったユーザーへの表示順番を設定できる機能。
*6 「PDF BANK」(<http://www.pdf.co.jp>)にユーザー専用のページを作成して、PDFファイルを掲載・公開するサービス。専用ページの制作、PDFファイルの掲載、PDFファイルの差替え、ファイル別アクセス数レポートなどのサービスが含まれる。利用できるディスクの容量は20M/バイト、超過すれば5000円/1M/バイト。ファイルは20まで格納でき、超過した場合は、1回につき1000円のファイル設定料がかかる。

調査協力会社の連絡先

■ネクシスコミュニケーションズ

東京都新宿区、TEL03-5227-7881、<http://www.pdf.co.jp/>

■エス・プリ

名古屋市市中川区、TEL052-332-4011、<http://www.esprit.co.jp/>

■ミユキ印刷

東京都渋谷区、TEL03-3320-6801、<http://www.mimj.co.jp/>

表2 「エス・プリ」*1のPDF制作料金

サービス	料金	
PDF制作	印刷物のデータ化*2	2000円~/ページ
	ファイル変換*3	1000円~/ページ
	加工・編集*4	200円~/ページ
WWW掲載*5	アクセス状況集計なし	1000円~/月
	アクセス状況集計あり	1万円~/月

*1 ホームページ、CD-ROMタイトルなどの制作が中心業務。デジタル・コンテンツのひとつとしてPDFの制作も行っている。元となる文書の内容やファイル量にもよるが、納品は通常10日以内。納品形態はPDFファイルとして指定のサーバーに転送する。
*2 印刷物などからPDFを作成する料金。PDFの変換用にアプリケーション・ファイルを新規に作成する場合、印刷物や紙下などをスキャンして、写真、イラストなどを画像データに変換、文字の部分はOCRソフトで読み込み、データ化して編集するなどのDTP作業を伴う場合がある。
*3 Microsoft Word、PowerPoint、Illustrator、PageMaker、QuarkXPressなどの文書をPDFに変換する。
*4 リンク設定、サムネイル、目次、しおり、動画コンテンツの埋め込みなどの機能を付加する場合。
*5 PDFをダウンロードできるWWWサーバーのスペースを提供するサービス。自社ドメイン名での登録も可能(登録費が別途1万5000円かかる)。

表3 「MIM JAPAN」*1のPDF制作料金

サービス	料金	
基本料金*2	4000円/ファイル	
PDF制作	ファイル管理*3	100円~/ファイル
	ファイル変換	150円~/ページ
	チェック作業	120円~/ページ
	ファイル編集*4	800円~/ファイル
CD-ROM原盤制作	8000円~/枚	

*1 印刷会社「ミユキ印刷」のマルチメディア・コンテンツ制作事業。ホームページ制作なども行っている。表では一例として、代表的なワープロ・ソフト「Microsoft Word」の文書で入稿した場合のPDF制作料金を掲載。スキャン、OCR処理、画像の取り込み、特殊なアプリケーションの文書からの変換などは別途見積もり。合計額の2割を営業経費として請求金額に加算する。
*2 基本的に1回のオーダーで合計金額が10万円に満たない場合に計上。
*3 複数のファイルを持ち込んだ場合の仕分け作業。
*4 初期画面表示、リンク設定、サムネイル作成、目次などを付加する作業。